



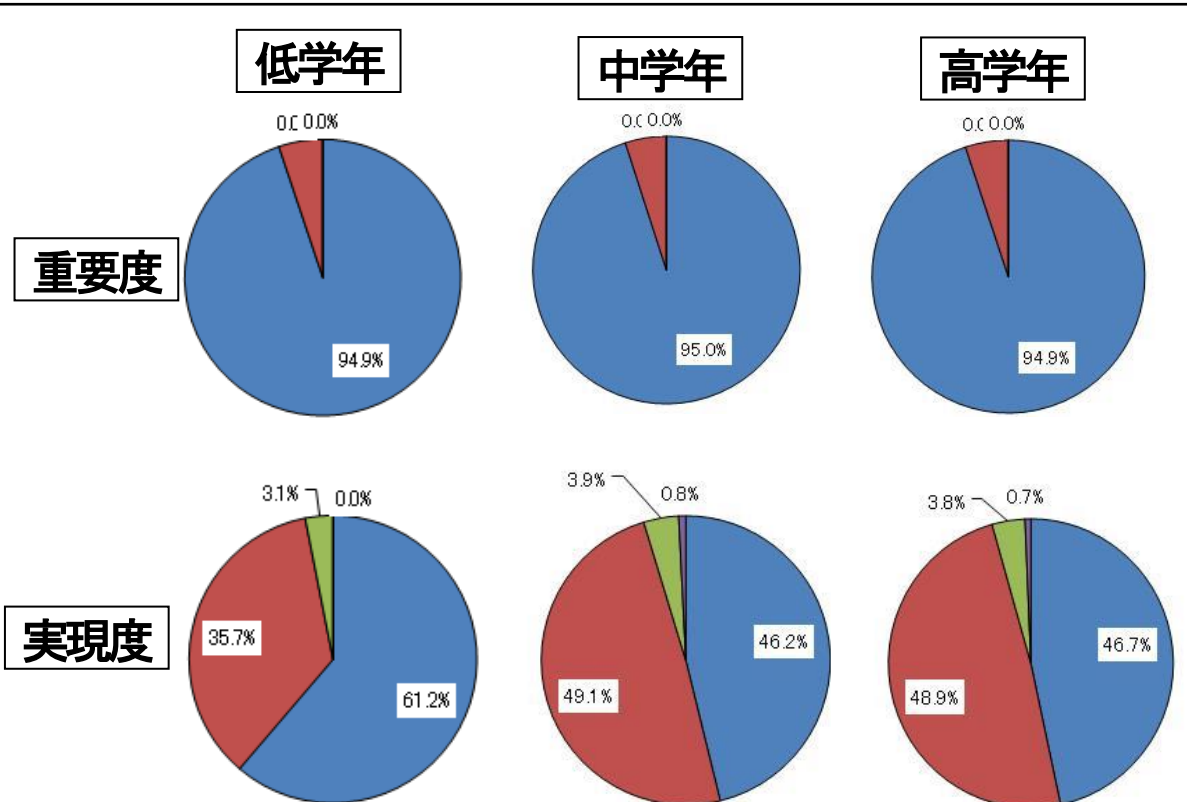
# 学校だより アンケート特集号

後期の保護者アンケート結果です。結果の集計とそこからわかる傾向と今後の課題について、考察してみましたのでお知らせいたします。  
抜粋した項目について、今回は低学年・中学年・高学年と学年が進むにつれての割合はどう変わっていくかを調べてみました。



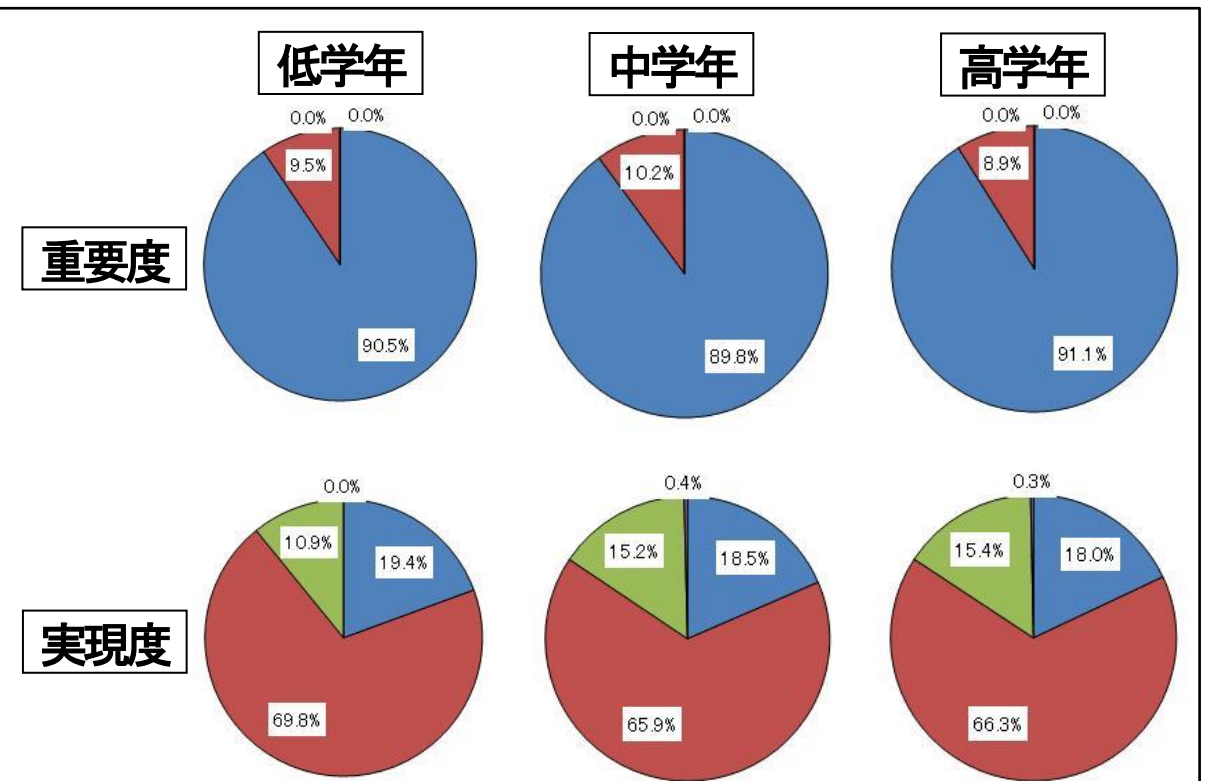
平成29年2月  
京都市立桂東小学校  
校長 和田 英明

## 『お子たちは、楽しく学校に通っている。』



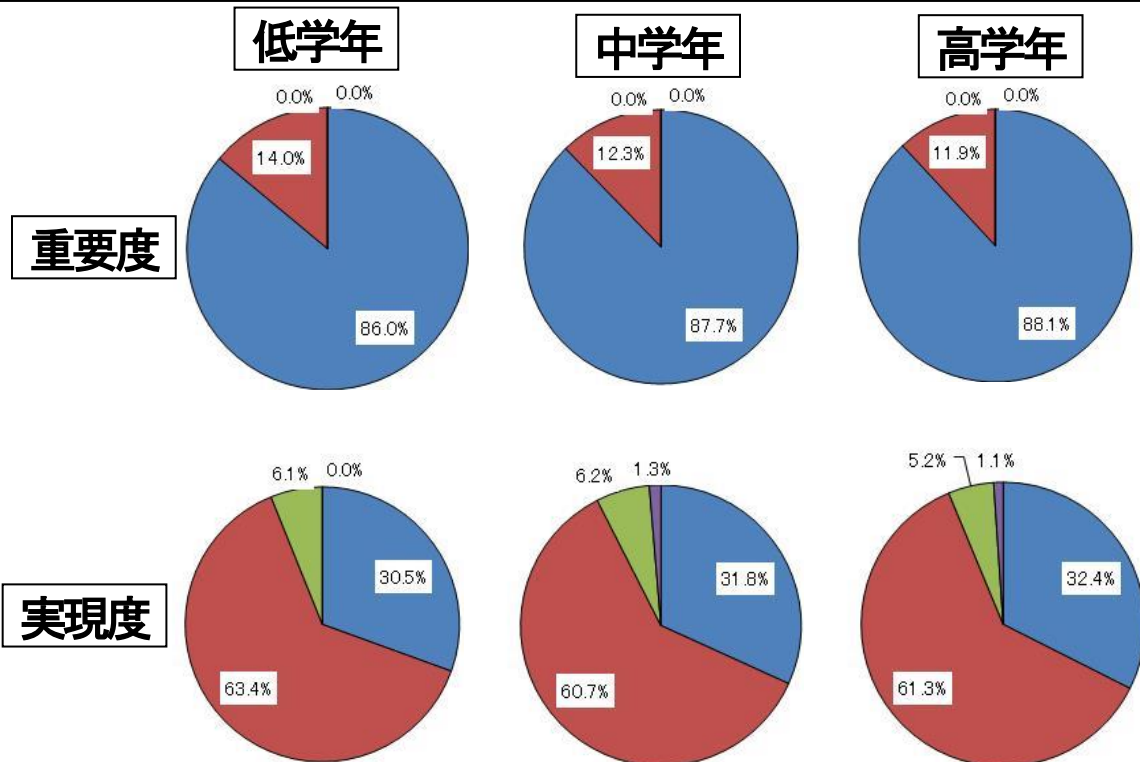
子どもたちの実現度と保護者の実現度の差異は、保護者の皆様と子どもたちとの「とても楽しい」「まあまあ楽しい」のとらまえ方の違いによるものではないかと考えられます。わたしたち教職員も「子どもたちにとって、学校は楽しいところであってほしい」と考えています。「みんなと一緒に…」「みんなで力を合わせて…」が学校の特色であり、良さだと考えています。みんなで成長する達成感を味わわせる取り組みをどんどん仕掛けて、子どもたちにとって「楽しい桂東小学校」にしていきたいと思います。

## 『お子たちは、学校で学習している内容がしっかりわかっている。』



学年が上がるにつれて、具体物を活用した学習から抽象的な学習へと移行していきます。さらに学習内容も多くなり、やらなければならないことが増えてきます。高学年になると「指示待ち」の姿勢での学習についていけなくなります。自学自習できる力が必要となってきます。子ども自身が自分の課題を見出し、自分で学習を進めていく学習方法です。高学年では、自学自習の習慣づけに向けて、毎日の学習の中に自由学習という課題を設けて取り組んでいる学級もあります。各ご家庭でも自学自習の習慣づけという視点でお子たちの学習への支援をしていただければ、学力向上につながっていくと思います。

『お子たちは、学校や社会のルールをしっかり守っている。』



規範意識の重要性が言われている昨今ですが、保護者の皆様のアンケート結果をみてみますと、保護者の皆様が大切に大事に考えておられるか、皆様の意識の高さが伺われます。

「重要である」が低学年86%、中学年87.7%、高学年88.1%と大体87%前後ですが、「やや重要である」と合わせると、低学年、中学年、高学年ともに100%となっています。保護者の皆様の実現度の「よく出来る」は、低学年、中学年、高学年、いずれも30%前後で重要度と比べると、かなり低い比率となっています。大切な問題と考えるからこそ、お子たちを観る目も厳しくなっているように思われます。

スポーツは、ルールを守るからこそ、みんなが安全で安心して、楽しく取り組むことができます。社会のルールも同じことだと思います。学校行事や学級の取り組みの中で、一人ひとりがしっかり“きまりやルール”を守るからこそ、みんなが安全で安心して楽しく過ごせる”のだということを実感としてとらえられるような取り組みを積み重ねていくことが、規範意識を高めていくことにつながっていくと考えております。

今回のアンケートでは、全体的には「大体できている」状況のようです。このことから「桂東小学校の落ち着き」が感じられます。“三つ子の魂 百まで”と言いますが、昔の人が真理を言いあてており、子育ての難しさを実感することが多々あります。地域行事などで地域の方々にも子どもたちを見守っていただいているということは大変心強く、ありがたく思っております。学校や家庭での生活において「理想とする姿」や「あるべき姿」を意識して、ご家庭と学校とが連携して取り組んでいきたいと思っております。

＜保護者アンケートの自由記述欄より＞

自由記述欄につきましては、励ましのお言葉や改善の要求など、様々なご意見をいただきました。今後、ご意見をもとにして、改善すべき所は教職員全体で取り組んでいきたいと思っております。下記には、その一部を抜粋し、掲載しております。

◇毎年書いているのに完全にムシされていますが、運動会で子どもたちと一緒にお弁当を食べられるようにしてほしいです。出来ないなら理由つきで、「アンケート結果」のプリントに掲載くらいしてほしいです。

学校行事は学習の一環です。運動会についてもレクリエーションとしての位置づけでなく、学習として取り組んでおります。本来なら学習のある日に運動会を行い、昼食は給食となります。しかし、より多くの保護者の方々にご観覧いただきたいの思いから土曜日に開催させていただいており、各ご家庭にお弁当のご用意等、ご無理をお願いしています。また、運動会当日、お仕事や体調不良等、様々な事情で運動会を観覧できない保護者の方もおられます。保護者が来られない子どもたちは寂しい思いをするのではないかとされます。以上のような理由で、現段階では保護者の方と子どもたちと一緒にお弁当を食べることはお断りしております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◇参観科目、毎回、国語、算数が多すぎです。他の体育、音楽の様子も観てみたいです。

◇朝学習が読書になり、読書が重点されているのに、夏休みや冬休みの図書室の利用が15分しかないのが残念です。もっと、図書室が利用できたら、読書の機会が増えるのではないかと思います。

◇笑顔であいさつし合うことの清々しさをもっと体験してくれるといいなと感じます。

◇学校で必要な物は、分かり次第、早急に連絡ください。すぐには用意できません。

◇学校そのものの個性が以前に比べて無くなったように感じる。

◇担任の先生がとても自分の子供について評価をしてくださる。私自身、子育てに自信がもてた。

◇子どもが心身共に元気で、楽しく学校に通っている事をとても嬉しく思います。

◇子どもたちの心身の健康は、給食調理員さんと栄養教諭の先生に支えて頂いている所が大きいと実感しています。直接、お礼は伝えられませんが、毎日、感謝しております。

自由記述欄の中には、その他にも厳しいご意見があります。わたくしたちは、全教職員が一致協力して「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という姿勢を堅持し、子どもたち一人一人の人権を徹底的に大切にし、一斉指導の中でも可能な限り個に応じた指導、取り組みを行っております。今後とも、ご理解・ご協力頂ますよう、よろしくお願い致します。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。

また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。